

## 1. 内政

### ▼フィラト内閣の総辞職後の動き

- ・12日、共産党は、議会の繰上げ総選挙の実施及び共産党のシンボルの使用を禁止する法律の廃止を要求する抗議集会を開催し、また、同党は組閣のための協議には参加しない旨の声明を発表。
- ・13日、自由民主党、民主党及び自由党は、党首以外の代表者による会合を開催し、新しい与党連合の編成に関する協議を開始。同日、ギンプ自由党党首は、フィラト首相の再任及び共産党との与党連合結成には反対である旨発言。
- ・13日、共産党議員は、ルプ議会議長(民主党党首)の辞任に関する法案を議会に登録。15日、フィラト首相代行(自由民主党党首)は、共産党による提案に関し党内で検討する意向である旨発言。
- ・15日、ティモフティ大統領は、近日中に議会各党と協議を行ったうえで、親欧派の首相を指名する意向である旨発言。

## 2. 経済

- ・12日、ポインク・モルドバ科学アカデミー経済財政統計研究所専門家は、現状のモルドバの政治危機は経済情勢に極めて否定的な効果を与えている、2012年のモルドバ経済への投資は2008年及び2011年との比較でそれぞれ9割・3割減少、当面モルドバ経済は海外送金で救済されており(6割が銀行、4割が個人を介して)、海外送金額も増加しているにも関わらず(2013年1月は昨年同時期比較で15%増)、経済が下落しているというパラドックスに陥っており、2013年の国家経済は2012年と同様、ネガティブな指標となるであろう旨発言。
- ・14日、国家統計局は、1月1日現在の沿ドニエストル地域を除く人口を対前年同日比100人減の355万9,500人(うち都市部が149万2,200人、農村部が206万7,300人)と発表。

## 3. 外政

### ▼ボルセビッチ・ポーランド上院議長の来訪

- ・11日、ティモフティ大統領及びフィラト首相代行は、来訪したボルセビッチ・ポーランド上院議長とそれぞれ会談し、モルドバの政治状況、欧州統合及び沿ドニエストル紛争に関

し協議。ボルセビッチ議長は、モルドバの内政状況に懸念を表明した一方、EUはモルドバを東方パートナーシップ諸国のリーダーとみなしており、ポーランドはモルドバの欧州路線を支持する旨発言。

- ・11日、ルプ議会議長は、ボルセビッチ議長と会談し、両国議会間交流の活性化及びモルドバの欧州統合問題等に関し協議。ルプ議長は、ビリニウスでの東方パートナーシップ首脳会合における連合協定仮署名及び2014年の同署名への期待を表明。同日、両議長は、第3回モルドバ・ポーランド議会会合に出席。ボルセビッチ議長は、モルドバがEUとの連合協定署名の機会を逃さないために早期に各党が妥協に達する必要がある旨発言。

### ▼その他

- ・14、15両日、第15回モルドバ・EU連合協定交渉がブリュッセルにおいて開催され、ゲルマン・モルドバ外務・欧州統合次官、ウィーガンド欧州対外活動庁ロシア・東方パートナーシップ・中央アジア局長が参加。本交渉は今回で終了するが、DCFTAを含む連合協定本文の確定のため今後数週間ビデオ会議形式等での協議が継続される予定。
- ・14日、フィラト首相代行は、ブリュッセルにおける欧州人民党大会に出席し、モルドバの政治情勢及び欧州統合路線の不可逆性に関し発言。同日、フィラト首相代行は、ボルジ保健・消費者政策担当欧州委員と会談し、モルドバとEUのDCFTA交渉の進展に関し協議。

## 4. 沿ドニエストル

- ・14日、カルポフ国家再統合問題担当副首相代行は、ティラスポリのOSCE事務局においてシュタンスキ「外相」と実務会合を実施し、移動の自由の問題等に関し協議。双方は、沿ドニエストル地域の車両の国際ナンバープレートの形式に関し合意。
- ・15日、大統領に就任し1年を迎えるティモフティ大統領は、沿ドニエストル問題に関し、シェフチューク「大統領」を同地域のリーダーと見なしている旨、また、モルドバ領内におけるロシア軍の駐留には反対である旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。(了)